

第32回 みなと舞鶴 ちゃったまつり

ご支援、ご協力ありがとうございました

7月28日と29日の二日間にわたり開催した第32回みなと舞鶴ちゃったまつりは皆様方のお陰をもちまして民踊ながしや花火大会など全ての催しを無事終えることができました。

まつりの開催にご理解とご協力をいただいた市民の皆様方をはじめ、協賛していただいた皆様、花火を提供していただいた皆様、企画と運営にご尽力いただいた皆様、各種催しに積極的にご参加いただいた皆様にあらためてお礼申し上げます。なお、一口千円の「まい花火募金」には1,285,499円の募金を寄せていただきました。

また、花火大会の翌朝には、まつりの協賛団体の皆様方をはじめ、大変多くの青葉中学校の生徒にも参加していただき、潮路プラザを中心に清掃作業をおこないました。

ちゃったまつりは、こういった多くの方々に支

えられています。

実行委員会では、今後ともこの市民のまつりが充実するように更に努力を重ねてまいります。

引き続き、皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

みなと舞鶴ちゃったまつり実行委員会



花火大会



民踊ながしで盛り上がる前夜祭



過去最多の46クルーが参加した舞鶴市民ちゃったまつりレガッタ



大変多くの方に参加していただいた清掃作業



海の日記念事業開催



7月16日午後1時30分から、舞鶴市商工観光センター5Fコンベンションホールにおいて、舞鶴「海の日」実行委員会主催による“「海の日」のつどい”が約250名の出席のもと盛大に開催されました。

河田友宏会長（当所会頭）の挨拶に続いて、山田啓二京都府知事（代理・今村正平京都府港湾事務所長）齋藤彰舞鶴市長、林三弘舞鶴市議会議長から祝辞が述べられました。

続いて海事関係功労者表彰式（受賞者20名）クイーンまいづるの披露、舞鶴海洋少年団のパフォーマンスやまいづる児童合唱団のコーラスなどが行われ、和やかな雰囲気の中で「海の日」をお祝いしました。

このほか7月1日には海上保安学校五森祭と共催で、巡視船「おき」体験航海を行い、一般募集で当選された244名が乗船、夏の海を満喫しました。

7月23日は在港外航船「ASIAN CYGNUS」を訪船し、海の日意義や舞鶴港の利用促進を要請し

ました。

また7月24日には親子で探検！『造船所ってどんなところ？』と題して、ユニバーサル造船（株）舞鶴事業所の見学会（参加者19名）を行いました。

その他、舞鶴海洋少年団・舞鶴西少年消防クラブ洋上交流会（7/8）、「京都舞鶴港」施設見学会（7/9）、まいづるクリーンキャンペーン（7/15）、まち遊びフェスティバル（8/13）などが行われました。

今年も海事思想の普及を図るため、海に関わる多くの事業が行われました。海事関係機関をはじめ皆様には大変お世話になりました。紙面を借りましてお礼申し上げます。



クイーンまいづるの披露